



校章の笹竜胆（ささりんどう）は、箕田源氏の旗印です

# ささりんどう

〔学校教育目標〕 ～感動し、共に喜びあえる児童の育成～

鴻巣市立箕田小学校 学校だより  
令和6年11月1日

児童数  
男子 122名  
女子 138名  
合計 260名



子どもたちの発するサインにいち早く気づく

校長 清水 良江

10月22日、23日の2日間で6年生と鎌倉・箱根へ修学旅行に行ってきました。鶴岡八幡宮を全員で見学した後、グループで高德院や長谷寺を回り、最後の目的地である新江の島水族館を目指しました。鶴岡八幡宮のある鎌倉駅からは江ノ電を利用し、途中下車をしながらお寺などを回るというコースです。鎌倉は、修学旅行生だけでなく、一般の観光客や外国の方など多くの方々にいっぱいでしたが、火曜日ということもあってかいつもよりは比較的すいていたように思います。多くの人がいる中で、自分たちで時間を見ながら、地図を見ながら、そして切符を自分で買って電車で移動しながらの旅行はとても大変であったと思います。旅の道中は、グループの中ではさまざまなハプニングも起こっていたようですが、学校外では自分たちでどうにかするしかなく、その都度話し合い、折り合いをつけながら進めていったようです。子どもたちにとっては、とても貴重な思い出に残る経験になったことでしょう。

さて、このところ不安になるような事件を多く耳にします。いわゆる若者による闇バイト事件です。凶悪な事件に発展するケースもありました。「ケーキの切れない非行少年たち」（宮口幸治著）によると事件を起こす少年たちは劣悪な家庭環境や貧困だけが原因とは言えず、ある共通点をもっていると言います。それは、「認知機能の弱さ」「感情統率の弱さ」「融通の利かなさ」「不適切な自己評価」「対人スキルの乏しさ」さらにプラス「身体的不器用さ」という6つの共通点です。このようなサインが出るのが、小学校2年生のころで周囲がいかに気づいてあげられるか、サポートしてよい方向に導いてあげられるかが大事なことでした。この中で特に気になったのは「認知機能の弱さ」です。「認知機能」とは見たり聞いたり想像したりする、すべての学習の基礎となる力のことです。聞く力が弱いと、教師の指示や友達の話が理解できず、周囲からは真面目にやっていないなどと誤解されてしまうことがあります。見る力が弱いと文字を写したり、文を読んだり、書いたりすることが苦手だけでなく、相手の表情やしぐさが読めず、不適切な発言や行動をしてしまったり、場の流れや雰囲気もつかみにくくなり「自分は皆から避けられている」など被害感を募らせたりすることにもつながります。また、想像力が弱いと、今これをしたらこの先どうなるのだろうといった予想やこれからの自分の目標が立てられなかったり、あと先構わない行動に出てしまい相手を不快にさせてしまったりすることにつながります。これらのことを考えると、学校側が子どもたちが発しているサインにどれだけ早い時点で気づけるかがこれまで以上に大事であると感じます。私達は日頃から子どもたちの話を聞いたり、よい点に目を向けて褒めたり、今後どう行動すべきかを自分自身で考えさせたりすることを行っていますが、それだけでなく、上記のような視点にも注視し、それらを意識した具体的な教育活動も考えていく必要があるかもしれません。

<いじめについて> (10/3校長講話より) かつて新聞で取り上げられた、いじめにあった子どもの作文をもとに講話を行いました。

その後、全員に感想を書いてもらいましたので、その時の児童の感想をほんの一部ですが紹介します。

- (1年) ・ぼくはいじめをしません。ひととなかよくなって、ひとのきもちもかんがえます。
- (2年) ・いじめをしたらこんなにつらいことがあるのだなと学びました。これからいじめやわるぐちをなくして、学校がよくなりたいです。
- (3年) ・じぶんがいやなことは人にはしない。いやなことをされたらじぶんもしない。もしくはやらない。それがやさしい心をもつ人だと思いました。みんなにやさしくした方が学校生活が楽しくなると思いました。
- (4年) ・考えたことが二つあります。一つ目はいじめはぜったいにだめだということです。いじめをされている人の気持ちがわかりました。二つ目はなくしたい言葉とあふれさせたい言葉です。なくしたい言葉はいじめにつながるのだなと考えました。これからは相手の立場を考えて、言葉を使ってみようと思います。
- (5年) ・いじめはつらく悲しいものなのだなどと改めて思いました。理由はいじめをされた人は心を打たれたみたいで苦しいだろうと思ったからです。だから、私はこれからクラスでも自分の中でも、あふれさせたい言葉となくしたい言葉を作って、いじめはもちろん、なくしたい言葉を使わないようにして、みんなが気持ちよく過ごせるようにしていきます。
- (6年) ・いじめは法律でも決まっています、許されないことだと思っています。された側は、何十年たっても許せないと思います。なぜなら、その人にしかわからない気持ちがあるからです。もっと自分の気持ちと相手の気持ちを大切にしていきたいです。